

D.メイナード博士講演記録

(a) メイナード博士連続講演 (全5回) の概要

榎田美雄 (徳島大学)

2004年2月28日から3月7日にかけて、本科研経費でダグラス・メイナード博士 (ウイスコンシン大学) を招聘し、東京と京都で講演会を5回 (東大、東洋大、成城大、キャンパスプラザ京都=2回=) とセミナー (京大) を1回行った。

この招聘に関しては、日本保健医療社会学会および日本エスノメソドロジー・会話分析研究会から支援をうけた。また、各地での企画に当たっては、石川ひろの氏 (当時東京大学、現在帝京大学)、串田秀也氏 (大阪教育大学)、山田富秋氏 (当時京都精華大学、現在松山大学)、平英美氏 (滋賀医科大学) ほか関係していただいた諸先生からたいへん多くの支援を受けることができた。記して感謝する。以下、箇条書きで、この全5回の講演企画の概要を記すこととする。

● 講師プロフィール　ダグラス W. メイナード (Douglas W. Maynard)、 Wisconsin大学Madison校教授

法廷・教育・医療という臨床の場における相互行為を研究対象とし、さらに近年は、サーベイインタビューによる社会調査の相互行為に焦点を合わせた研究を行っている。世界各地でその研究報告を行い、また講演活動などを通して、世界の医療現場の会話分析の第一人者とのネットワークの中で、幅広い活動を行っている。

- 主な著書 『Inside Plea Bargaining : The Language of Negotiation』 1984, Plenum Press
『The Diversity of Ethnomethodology』 1991, Annual Review of Sociology(共著)
『Standardization and Tacit Knowledge : Interaction and Practice in the Survey Interview』 2002, John Wiley (共著)
『Bad News, Good News』 2003, The University of Chicago Press
榎田美雄・岡田光弘訳『医療現場の会話分析—悪いニュースをいかに伝えるか』 2004勁草書房 (上記図書の抄訳)

● 講演会の会場と講演タイトルの一覧

■ 第1回 ■

2004年2月28日 (土) 13:30~16:30

東京大学・本郷キャンパス・山上会館

「悪いニュースと良いニュース」

司会者： 石川ひろの (東京大学)

通訳： 南 保輔 (成城大学)

指定討論者： 橋本英樹 (帝京大学(医師))

川名典子 (聖路加国際病院 (看護師))



■ 第 2 回 ■

2004年2月29日（日）13:30～16:00

東洋大学白山5号館5B12教室

「エスノメソドロジー、会話分析、
そして社会学的未来—自閉症からの教訓」
(演題は改題されて上記に)

通訳： 藤守義光（工学院大学）



■ 第 3 回 ■

2004年3月 1日（月） 13:30～15:30

成城大学7号館733教室

「エスノメソドロジーから見た
アメリカにおける電話サーヴェイ調査」

司会者： 南 保輔（成城大学）

通訳： 南 保輔（成城大学）



■ 第 4 回 ■（本報告書に掲載されている翻訳記録はこの回のものである）

2004年3月 6日（土）14:00～17:00

キャンパスプラザ京都第3講義室

「悪いニュースと良いニュース」

司会者： 林 千冬（神戸市看護大学）

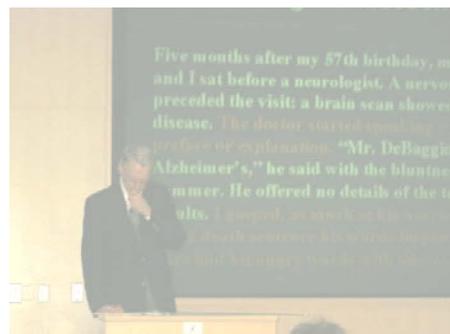
榎田美雄（徳島大学）

通訳： 南 保輔（成城大学）

指定討論者：

平 英美（滋賀医科大学医療社会学）

佐伯日登美（ヒューマンケア研究会）



■ 第 5 回 ■

2004年3月 7日（日）14:30～17:30

キャンパスプラザ京都第1講義室

「エスノメソドロジー、会話分析、
そして社会学的未来—自閉症からの教訓」

司会者： 山田富秋（京都精華大学）

串田秀也（大阪教育大学）

指定討論者： 榎田美雄（徳島大学）

通訳： 藤守義光（工学院大学）



※ 2月28日と3月6日の講演はほぼ同一。

※ 2月29日と3月7日の講演もほぼ同一。